

不二精機株式会社

2018年12月期

第2四半期 決算説明資料

おことわり

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであります。

これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

2018年12月期 第2四半期 実績



2018年度 第2四半期決算概要(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

(百万円)	2017年 2Q	2018年 2Q	前年同期比		2Q業績 予想			対 通期業績 予想進捗率	通期業績 予想※
				%		2Q業績予想との 差異			
売上高	2,429	3,276	+847	134.9	2,922	+354	112.1%	54.1%	6,059
営業利益	110	305	+195	277.3	151	+154	202.0%	87.4%	349
営業利益%	4.5%	9.3%	—	+4.8P	5.2%	—	+4.1P	—	5.8%
経常利益	97	234	+137	241.2	111	+123	210.8%	85.1%	275
経常利益%	4.0%	7.1%	—	+3.1P	3.8%	—	+3.3P	—	4.5%
純利益※1	96	174	+78	181.3	85	+89	204.7%	74.7%	233

※ 百万円未満を四捨五入して記載しております。

※1:「親会社株主に帰属する親会社株主に帰属する当期純利益」を簡略化して記載しております。

※2:「業績予想」は2018年2月14日に公表した予想値です。

売上高は、精密金型事業において、医療機器用精密金型が前年度からのずれ込み分も含め堅調に推移したことや、精密成形品事業においても自動車関連部品を中心に想定を上回る受注を受けたことなどにより、予想を上回りました。

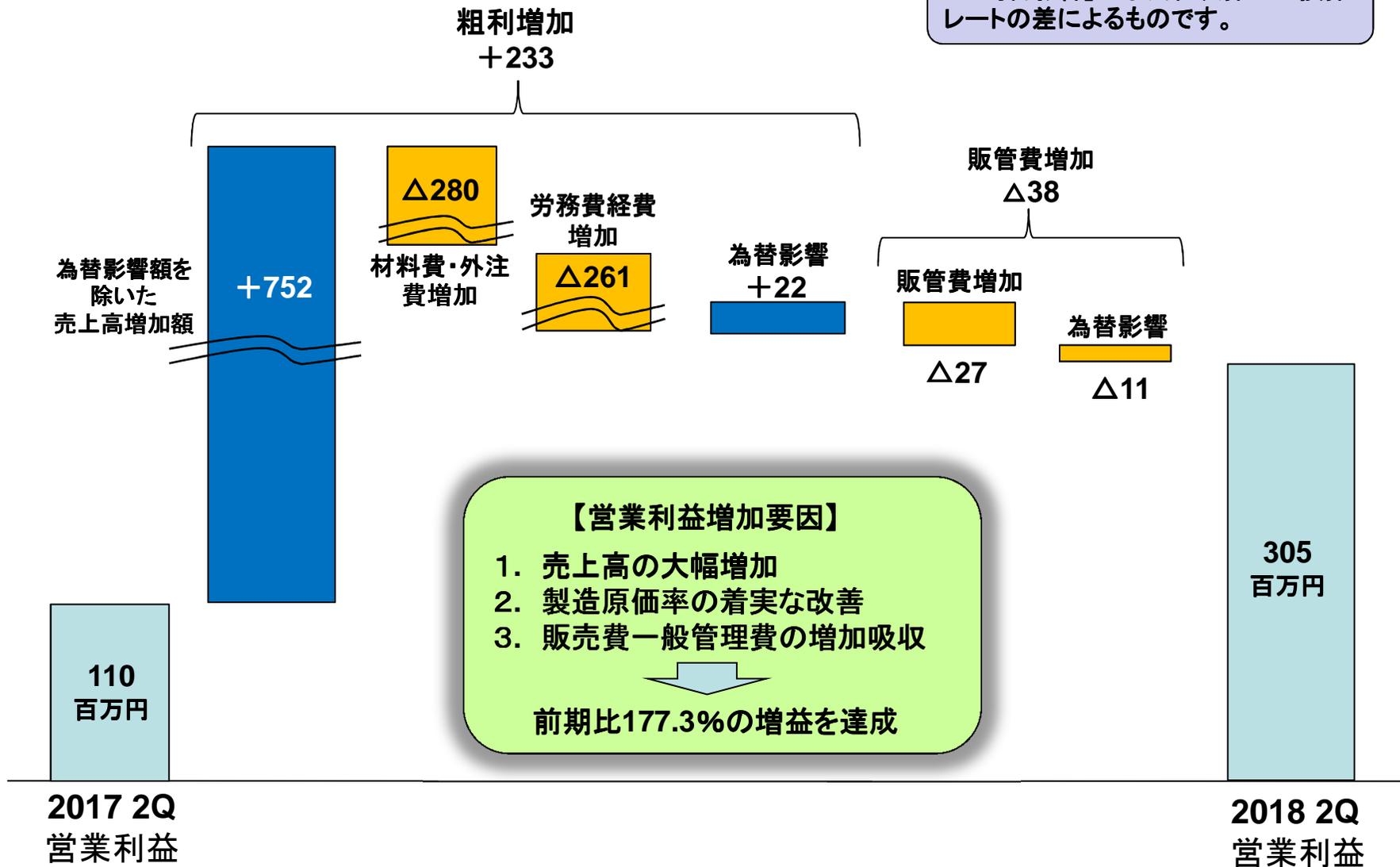
精密金型事業での受注内容の改善、精密成形品事業での稼働率の向上による利益率の改善があり、為替差損、製造設備更新などに伴う廃棄処理費用を吸収し、すべての利益の増益を達成しました。

国際情勢の変動による経済環境の不透明感などを勘案し、今年度通期業績予想は変更いたしません。予想以上の増収増益を目指して参ります。

2018年度 第2四半期 営業利益(連結) PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

～対前期比増減要因

※「為替影響」は子会社決算の円換算レートの差によるものです。



2018年度 第2四半期 経常利益(連結)

PRODUCT MOTHER

FUJI SEIKI

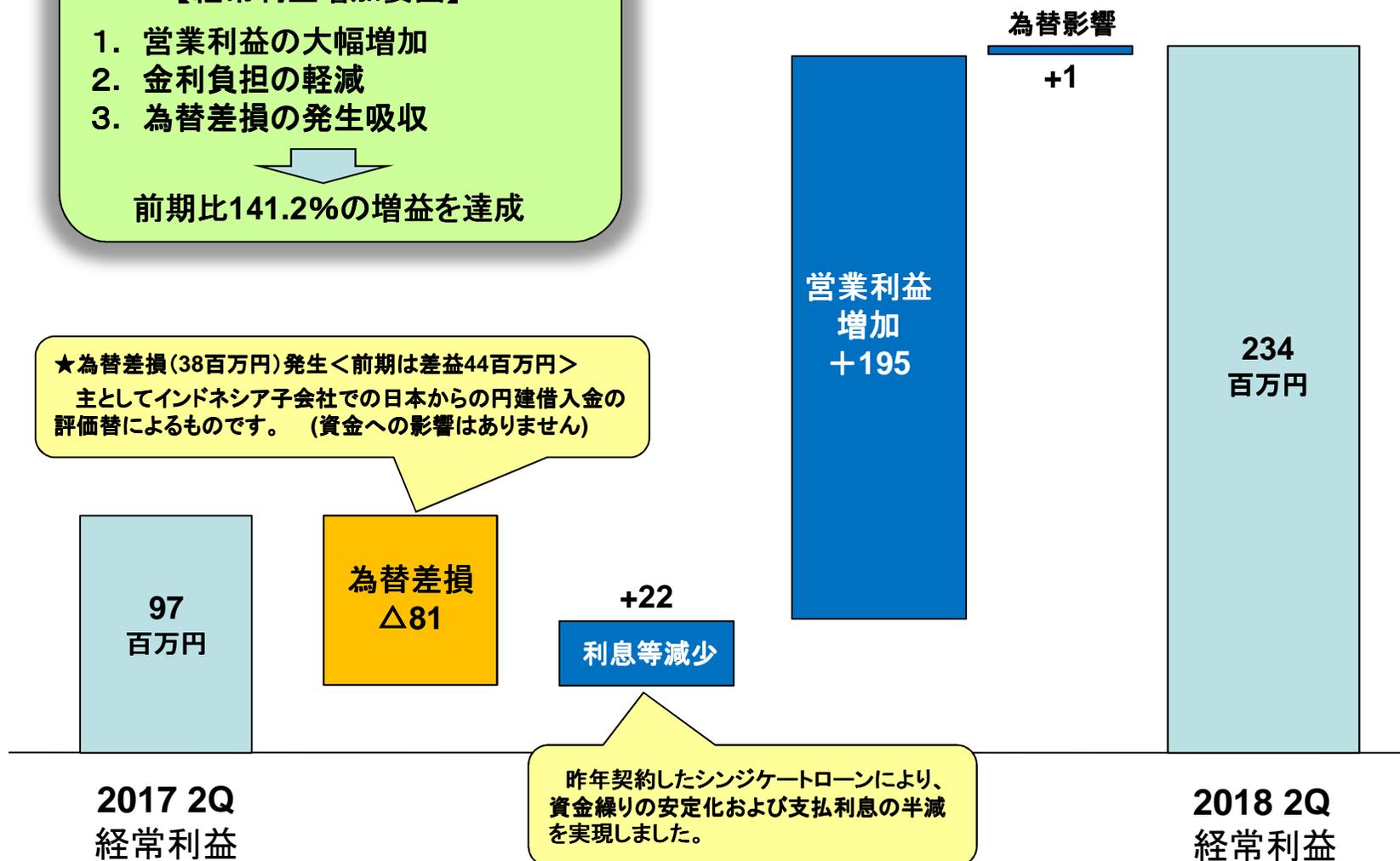
～対前期比増減要因

【経常利益増加要因】

1. 営業利益の大幅増加
2. 金利負担の軽減
3. 為替差損の発生吸収

前期比141.2%の増益を達成

★為替差損(38百万円)発生<前期は差益44百万円>
主としてインドネシア子会社での日本からの円建借入金の
評価替によるものです。(資金への影響はありません)



昨年契約したシンジケートローンにより、
資金繰りの安定化および支払利息の半減
を実現しました。

2018年第2四半期 連結貸借対照表の概要

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

- 当第2四半期末の ROE(当期純利益÷期首・期末平均純資産)は、14.2%
- 当第2四半期末の 一株当たり純資産は、176.9円



自己資本比率 21.7%
前期末比 3.3ポイントUP

取組課題:

- ・売掛債権・棚卸資産の圧縮による資金の効率化
- ・利益の蓄積による自己資本比率の向上

2018年度通期の見通し



☆為替レートの影響について

当社はタイ、中国、インドネシアに連結子会社があり、各社とも現地通貨での決算を行っており、為替レートの影響を受ける場合があります。

売上高、利益については、各連結子会社の2017年度の平均レートを元に2018年度連結業績予想を算出しております。

また、期末日のレートで連結各社とも外貨建て債権・債務の評価替えを行い、評価差損益を営業外損益に計上いたします。

(2018年第2四半期に発生した為替差損38百万円は上記の処理によるものです)

2018年2月14日公表の業績予想は、下表の各レートを元に円換算しておりますが、為替レートの影響を受け、業績予想と乖離する場合があります。

(円)

中国元	タイバーツ	インドネシアルピア
16.50	3.20	0.0083

☆精密金型セグメントの受注状況等について

当社グループで製造する精密金型の、受注～生産・売上計上（お客様による検収）に至るまでの期間は、おおむね5か月程度であります。

従いまして、2018年12月期の下半期の売上高は、当上半期(第2四半期)における受注高および生産高に影響されます。

なお、現受注残高に対する生産状況は順調に推移しておりますが、顧客側での検収時期(精密金型事業の売上は検収基準を採用しております)のずれにより、売上高が変動する場合があります。

当第2四半期 累計期間	受注高(百万円)	生産高(百万円)	受注残高(百万円)
精密金型 セグメント	1,667	1,447	1,281

前期末比
246百万円増加

ご参考

2017/12月期 (通期)	受注高(百万円)	前年同期比	受注残高(百万円)	前年同期比
精密金型 セグメント	2,101	125.8%	1,035	161.1%

18/12月期通期業績予想(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

単位:百万円

	2017年12月期実績			2018年12月期予想			2018年12月期予想の説明
	金額	構成比	伸率	金額	構成比	伸率	
精密金型事業	1,722	32.7%	△9.6%	2,372	39.1%	37.7%	前期売上計上予定(売上未検収)分の当期へのずれ込み、および医療機器用金型の増加
精密成形品事業	3,545	67.3%	10.7%	3,687	60.9%	4.0%	東南アジアでの自動車部品の増加
売上高	5,267	100.0%	3.1%	6,059	100.0%	15.0%	
売上総利益	1,254	23.8%	12.5%	1,401	23.1%	11.7%	精密金型事業および精密成形品事業の稼働率向上に伴う原価率の改善
販売管理費	930	17.7%	3.0%	1,052	17.4%	13.1%	人件費、研究開発費の増加
営業利益	324	6.2%	52.8%	349	5.8%	7.7%	
経常利益	141	2.7%	151.8%	275	4.5%	95.0%	シンジケートローンによる金利負担軽減
当期純利益	122	2.3%	212.8%	233	3.8%	91.0%	

※2018年12月期(予想)の業績変動リスク

- ①急激な為替変動、②国際情勢の不透明化による景気変動

直近5年間の業績・財政の推移および2018年予想

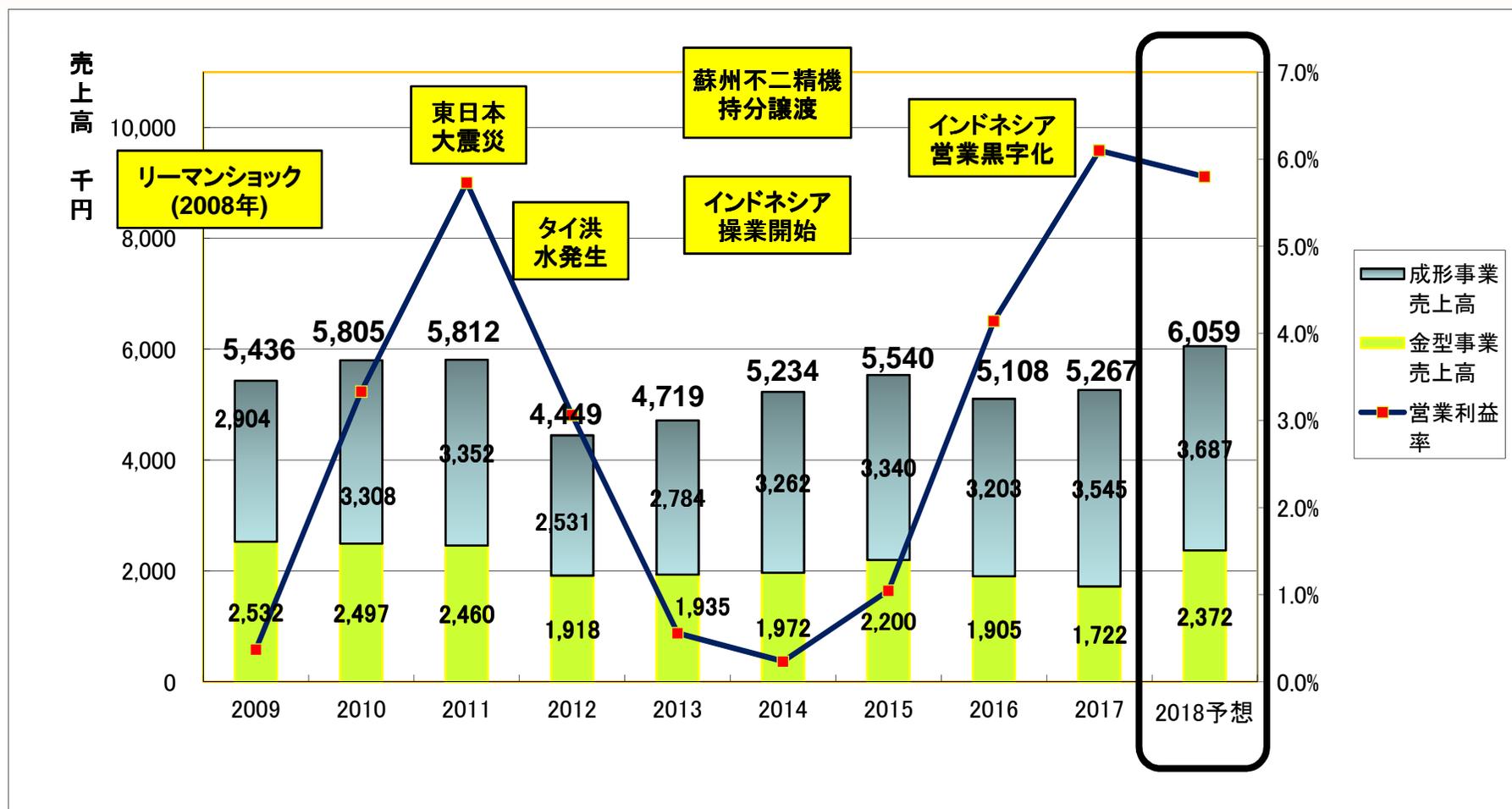
PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

単位：百万円

連 結	2013年(実績)	2014年(実績)	2015年(実績)	2016年(実績)	2017年(実績)	2018年(予想)
売上高	4,719	5,234	5,540	5,108	5,267	6,059
営業利益	11	55	189	212	324	349
売上高営業利益率	0.2%	1.1%	3.4%	4.2%	6.2%	5.8%
経常利益	32	26	△53	56	141	275
当期利益	42	△257	△64	39	122	233
1株当たり配当(円)	0.00	0.00	0.00	3.00	3.00	3.00
総資産	6,326	6,411	5,951	5,193	6,068	6,278
純資産	1,389	1,250	1,114	877	1,116	1,326
自己資本比率(%)	22.0	19.5	18.7	16.9	18.4	21.1
1株当たり純資産(円)	168.15	146.81	130.77	115.49	147.03	174.91
自己資本純利益率(%) (ROE)	3.9	—	—	4.0	12.2	19.1
設備投資額	676	462	472	292	287	425
減価償却費	273	281	285	288	298	329

連結業績 推移(主要イベント)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



・2015年から、精密成形品事業の売上高は自動車部品の比率が50%を超え、稼働率の安定化により営業利益が増加、さらに2014年に操業を開始したフジセイキインドネシアが2016年に営業黒字化を達成し、連結での営業利益は売上高の増加に伴い、安定的な増益基調に転換しております。

☆2018年12月期は、通期で営業利益率5.8%超を目指します。

配当政策および配当額

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

2018年度

2017年度

(単位:円)	予 想	実 績
中間期	0.00	0.00
期 末	3.00	3.00
年 間	3.00	3.00

当社は、株主への利益還元と将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、連結損益の実績を考慮した上で安定した配当を継続することを基本方針としております。

2017年12月期において、メイン銀行を中心としたシンジケートローン契約の締結により、財務体質の強化が実現できたことに加え、グループ全体の業績が今後安定化する方向でありますので、前期に引き続き期末配当金を1株あたり3円と予想しております。

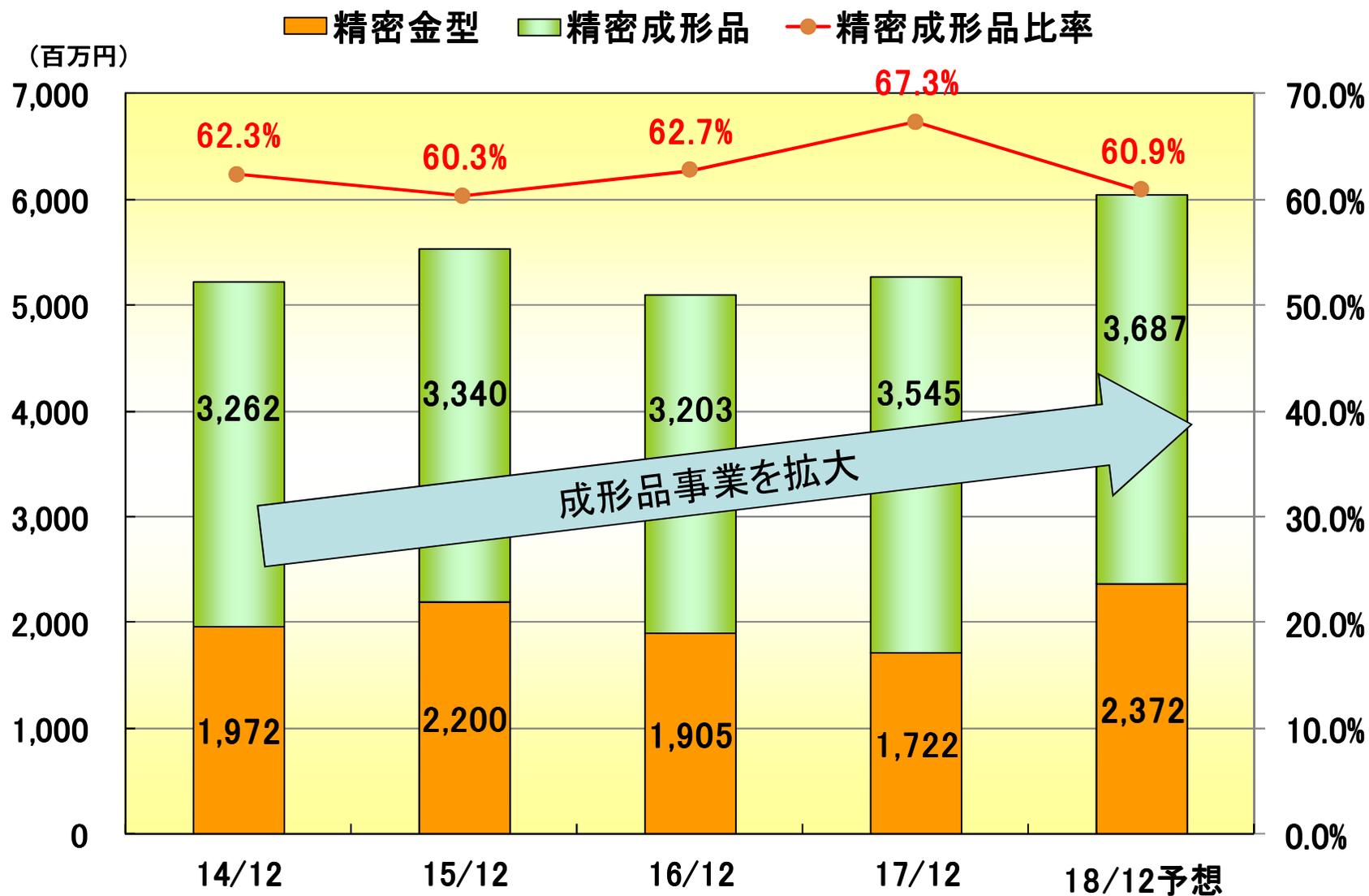
ご参考

1. 事業別・製品分野別・地域別戦略
2. 不二精機グループ拠点のご紹介
3. 主要製品(精密金型、精密成形品)

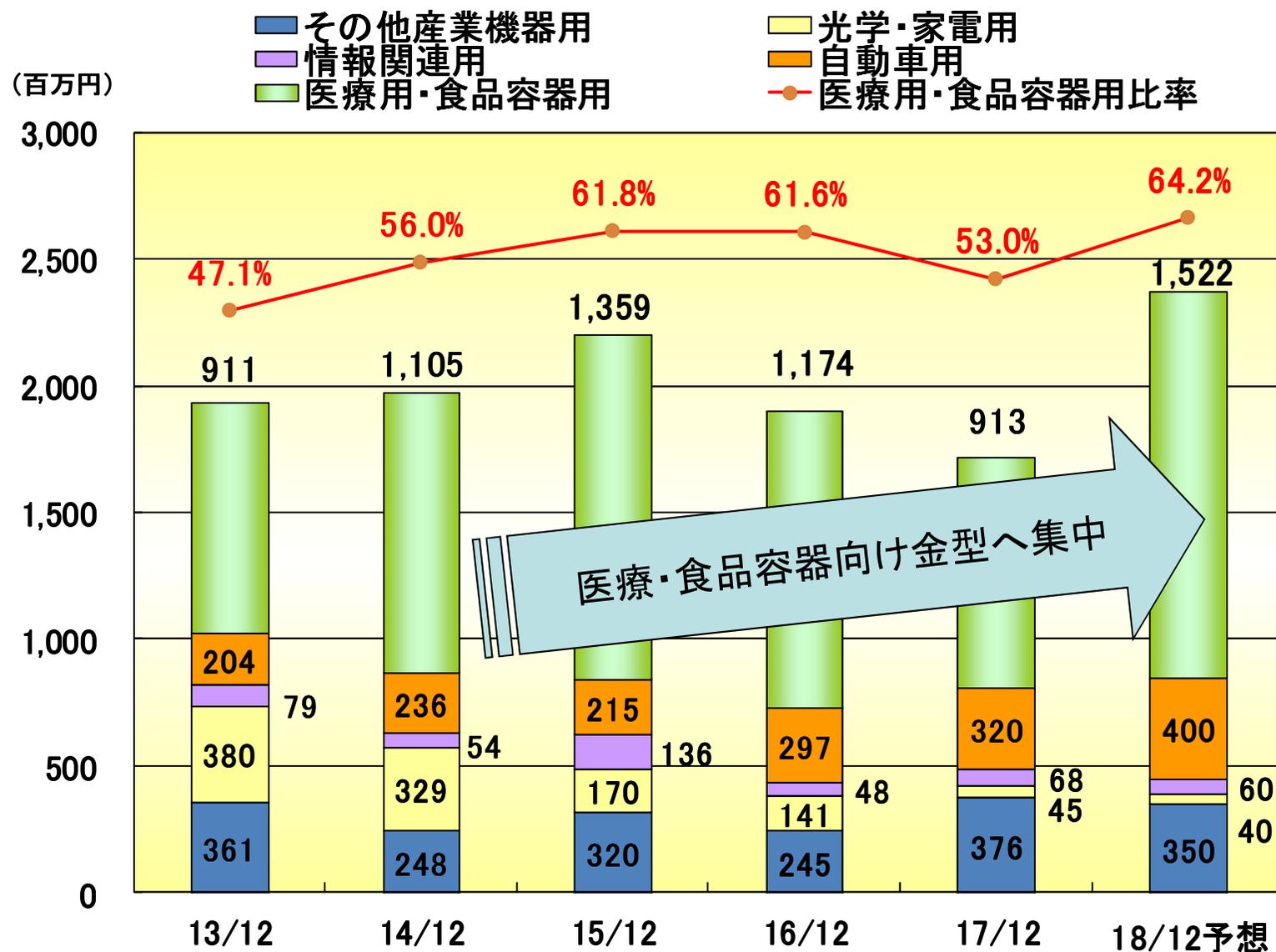


セグメント別売上高推移(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

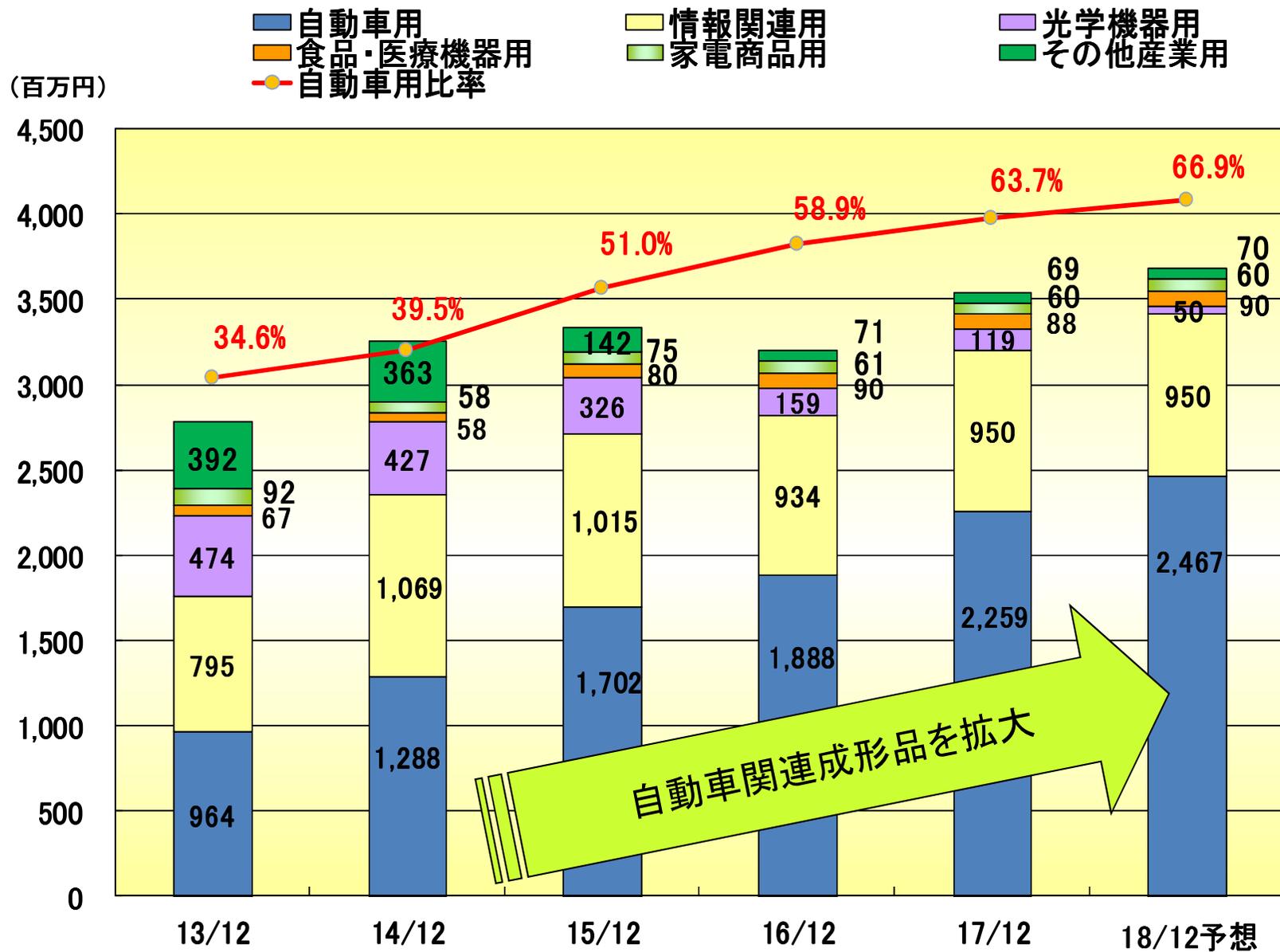


精密金型事業 / 分野別売上高推移 (連結) PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



精密成形品事業 / 分野別売上高推移(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI



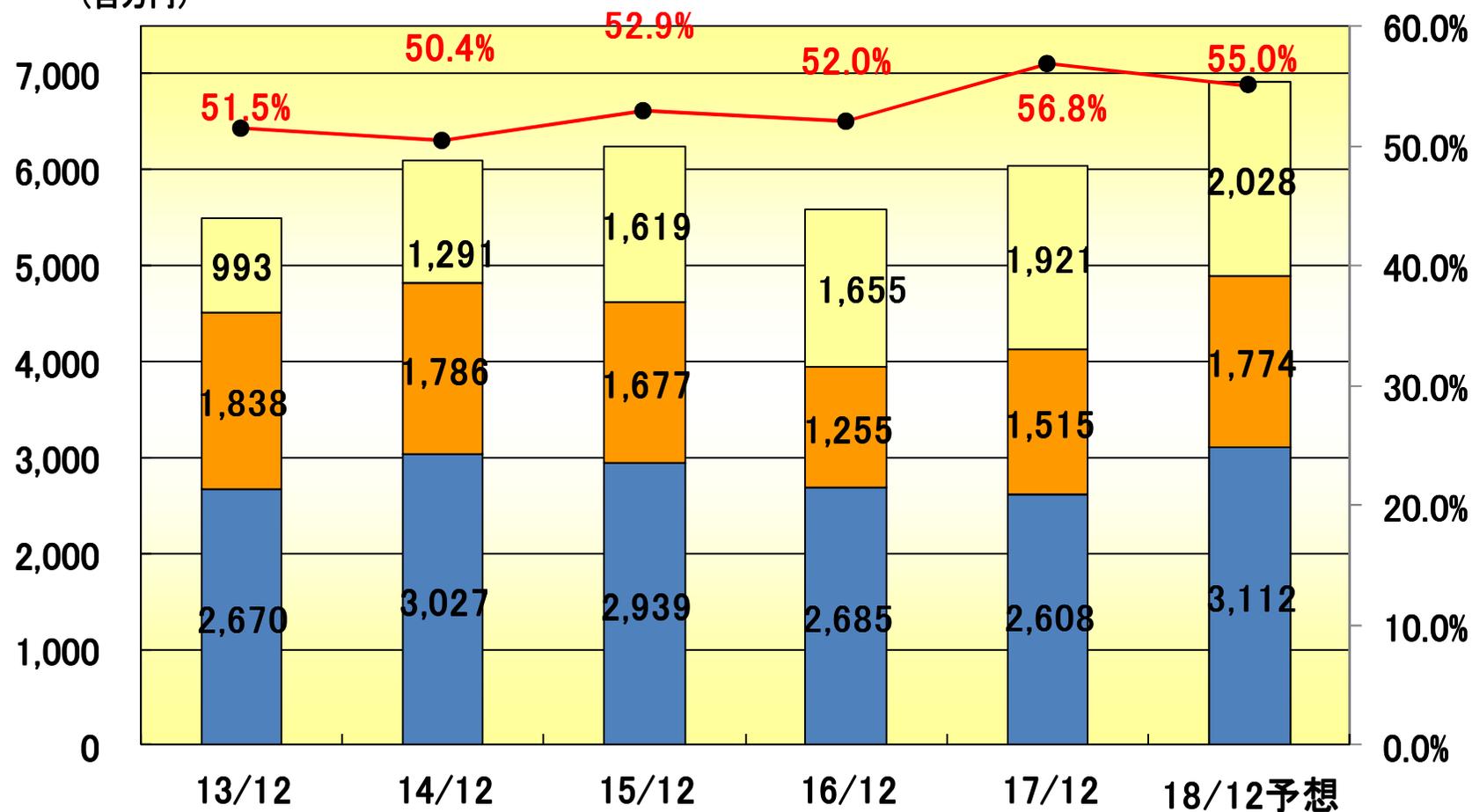
地域別売上高推移(連結)

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

東南アジア
市場を拡大

■ 日本 ■ 中国 ■ タイ・インドネシア ● 海外売上比率

(百万円)



(グループ内売上含む)

不二精機グループ 拠点のご紹介

PRODUCT MOTHER FUJI SEIKI

不二精機グループ 483名

国内勤務者107名

金型事業

生産拠点2工場

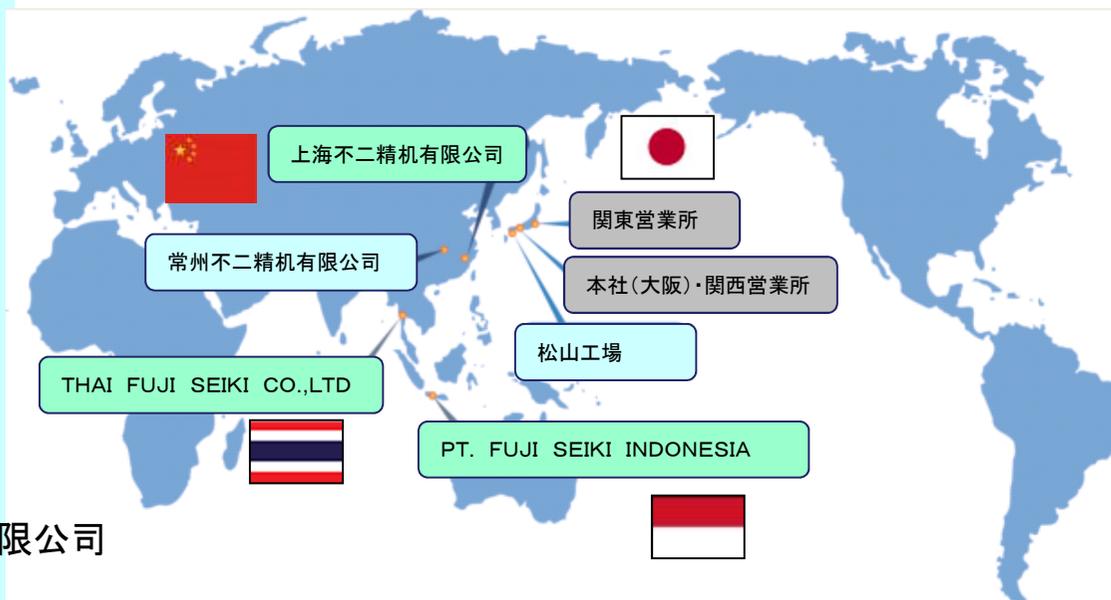


■松山工場

112名



■常州不二精机有限公司



営業拠点(国内)

2拠点



■本社(大阪市) 関西営業所



■関東営業所

成形事業

生産拠点3工場

88名



■上海不二精机有限公司

105名



■THAI FUJI SEIKI CO., LTD.

71名



■PT.FUJI SEIKI INDONESIA

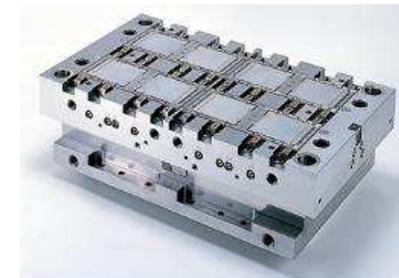
医療機器用金型



食品関連金型



情報関連金型など



主力の自動車関連部品

